

経営比較分析表（令和元年度決算）

岡山県倉敷市 倉敷市立市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 民間企業出身 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	ド訓	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
482,250	14,117	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

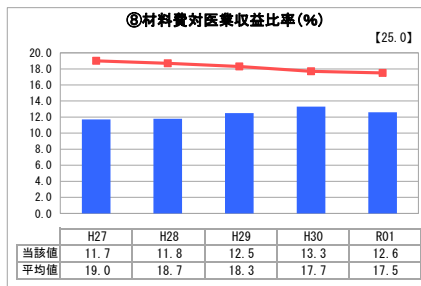
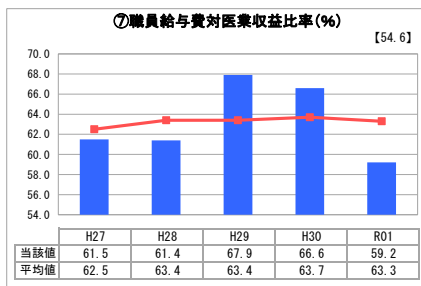
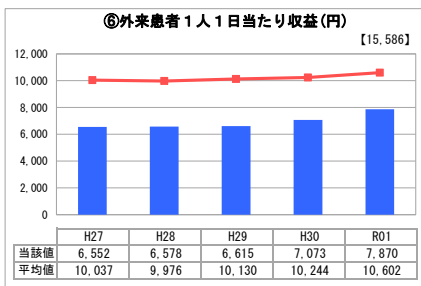
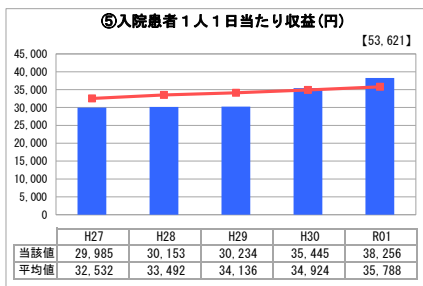
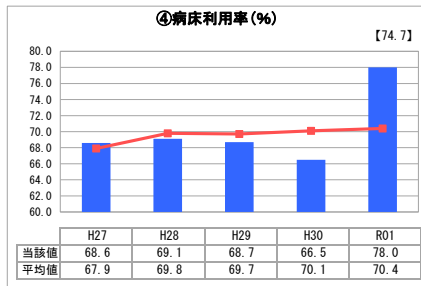
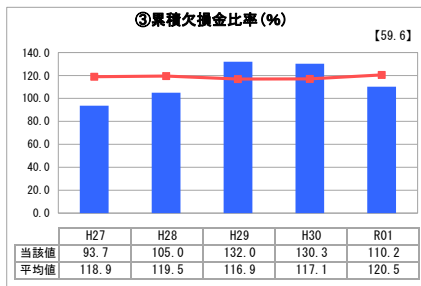
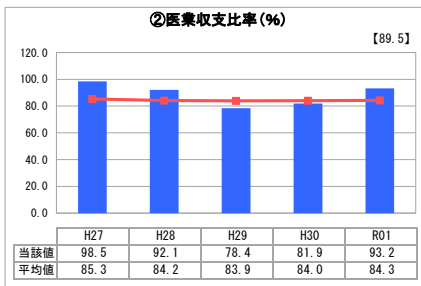
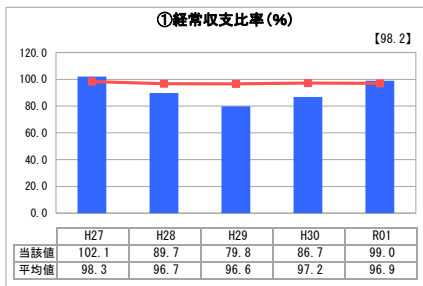
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
198	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	198
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
198	-	198

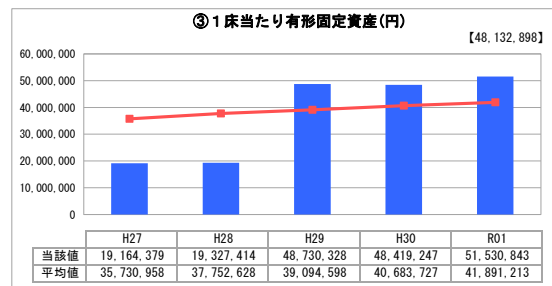
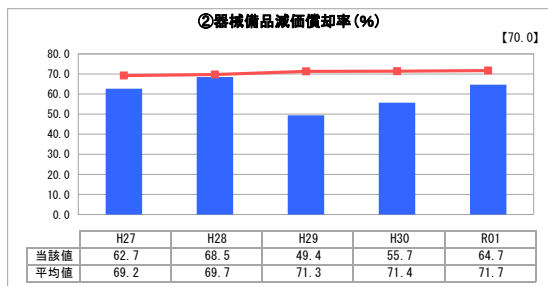
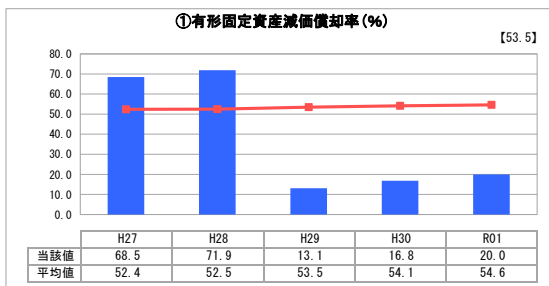
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

採算性を求めることが困難である救急医療、周産期医療、小児医療を提供し、市民の健康保持や福祉の増進を図るとともに、予防医療の充実や地域の医療機関や施設と連携し、地域包括ケアを推進するなど、地域の中核病院として地域医療を確保します。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収支比率ともに前年度より改善した。主な理由として、経常収益及び医業収益の増加率が、経常費用及び医業費用の増加率を上回ったことによるものです。病床利用率は救急搬送患者を積極的に受入れたことなどから入院患者数が増加し、前年度に比べ上昇しました。また、類似病院の平均値も上回りました。

患者1人1日当たりの収益について、入院は類似病院の平均値を上回りましたが、外来は平均値を下回っているため、医療の質を向上して1人当たりの収益を高める必要があります。

2. 老朽化の状況について

病院の建替え、医療機器の更新を行い平成30年4月に新病院を開院したため、有形固定資産減価償却率は20.0%、器械備品減価償却率も64.7%と類似病院の平均値を下回っています。

全体総括

経常収支比率、医業収支比率は収益の増加により前年度より改善しています。また、類似病院の平均値も上回りましたが、今後も減価償却費の計上、企業債の償還等により、収支は厳しい状況が続くものと思われます。

このため、引き続き支出削減による経営の効率化に取り組むことはもちろんのこと、病床利用率の向上に向けて、救急搬送受入体制の充実を図るとともに、地域の医療機関との連携を強化し紹介患者の増加に努めてまいります。

また、施設基準の積極的な取得やDPCコーディングの適正化による診療単価の向上に努め、収益の拡大を図ってまいります。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。